



# NPO STARS

## 設立 5 周年記念式典 及び東アジア交流研修 実施報告書

2013年、私たちは「社会的養護における次世代の人材育成」「児童福祉向上にかかる情報発信」を活動理念として掲げ、わが国の社会的養護におけるシンクタンクをめざし、特定非営利活動法人 NPO STARS としてその歩みをスタートさせた。これまでの活動を振り返るとともに、多くの方の支えのもと5周年を迎えられたことに感謝して記念式典を開催した。併せて、韓国から K-STARS の皆様が来日し東アジア交流研修を実施した。

報告者：曹 徳善・砂山真喜子・麻生信也

## ■ 特定非営利活動法人 NPO STARS 設立 5 周年記念式典 報告

- テーマ 「世界に学び、人材（ひと）を育てる～新しい時代を拓く児童福祉施設～」
- 開催日 2018 年 6 月 30 日（土）
- 参加者 来賓 11 名                      韓国来賓 10 名                      一般 13 名  
                    NPO STARS 会員 54 名                      関係者 14 名                      資生堂財団 9 名
- 会場 第一部・第二部 スペース FS 汐留ビル  
                    第三部 資生堂汐留オフィス 12F
- 主催 特定非営利活動法人 NPO STARS
- 協賛 公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団

### 【第一部】                      記念式典

1. 綱領唱和
2. 代表理事挨拶 太田一平氏
3. 来賓紹介

慶尚南道社会福祉士協会会長  
パク ソンウク 氏

慶尚南道社会福祉士協会副会長  
ジョンミンファ 氏

K-STARS のみなさま 8 名

全国児童養護施設協議会会長 桑原 教修 氏

全国乳児福祉協議会会長 平田 ルリ子 氏

全国児童家庭支援センター協議会会長 橋本 達昌 氏

中部児童養護施設協議会事務局長 長谷川 晃久 氏

社会福祉法人二葉保育園理事長 遠藤 久江 氏

特定非営利活動法人キーアセット代表 渡邊 守 氏

株式会社 AOKI 取締役人事管理本部長 追谷 元啓 氏



株式会社 AOKI 営業管理部副主任 南 扶美世 氏

株式会社 AOKI 広報室主任 竹村 みどり 氏

資生堂ジャパン株式会社 CSR・コミュニケーション部グループマネージャー  
円地 知子 氏

同窓会 STARS 会長 中山 正雄 氏

#### 4. 来賓紹祝辞

韓国慶尚南道社会福祉士協会会長 パク ソンウク 氏

全国児童養護施設協議会会長 桑原 教修 氏

公益財団法人資生堂社会福祉事業財団理事長 大矢 和子 氏

#### 5. 祝電披露

#### 6. 感謝状贈呈

韓国慶尚南道社会福祉士協会

株式会社 AOKI

資生堂ジャパン株式会社 CSR 部

資生堂社会福祉事業財団

藤川 澄代 氏（ご欠席）



#### 7. NPO STARS 役員紹介

#### 8. NPO STARS 活動報告

STARS セミナー（発表 砂山 真喜子 氏）

東アジア交流研修（発表 麻生 信也 氏）

自立支援セミナー（発表 春田 真樹 氏）

NeCST セミナー（発表 軀川 恒 氏）

マネジメントプロジェクト（発表 高田 牧子 氏）

設立5周年記念映像（制作 越川 和久 氏）



## 第一部の所感

多くのご来賓のご臨席を賜り、厳粛な雰囲気の中での式典であった。5年間の活動を振り返り、活動を支えていただいた方々に感謝する機会となった。ご祝辞も心のこもった温かいメッセージであった。活動報告は、簡潔にまとめられており参加した方からも好評であった。

## 【第二部】 設立5周年記念シンポジウム

### テーマ

「施設養育を担う人材（ひと）の育成を韓国と語ろう！」

### 進行・コーディネーター

増沢 高氏（子どもの虹情報研修センター研修部長）

### シンポジスト

金 潔氏（大正大学社会福祉学部）

麻生 信也氏（児童養護施設杉並学園施設長）

ジョンミンファ氏（慶尚南道社会福祉士協会副会長）



### 第43回資生堂児童福祉海外研修報告

発表者：児童養護施設窓愛園 石濱 実氏



## 第二部の所感

「施設養育を担う人材（ひと）の育成を韓国と語ろう！」をテーマにシンポジウムを行った。教育、施設現場、韓国のそれぞれの立場からの発題であった。増沢先生のコーディネートにより、三者の発題のつながりや共通項を見出すことができた。フロアからもさまざま質問や意見が出され、養育を担う人材（ひと）の育成が、参加者の共通の課題であることが認識された。

第43回資生堂児童福祉海外研修報告は、ルーマニアおよびドイツでの研修報告が行われた。歴史の流れに翻弄された子どもたちの現実と、その子どもたちの権利の回復に向けた取り組みの報告に、参加者も皆、熱心に耳を傾けていた。簡潔にまとめられたよい発表との感想が聞かれた。

参加者を集めるのに苦労した。会場に空席が目立ったことも残念であった。今後は、セミナー等の開催にあたっては、関心を持ってもらえるようなテーマ設定とするなど会員のニーズ把握を行い、より多くのNPO STARS会員に活動に参画してもらえるような工夫が必要であると感じた。また、NPO法人であることから、一般の方々の参加を得るための工夫も求められている。

## 【第三部】 日韓文化交流～詩の朗読と音楽～

パフォーマー：イプシロン ピアノ：御法川 恵里奈

交流会 司会：高田牧子、片根志雄

### 第三部の所感

オペラや映画音楽などの演奏と、ドロシーローノルトの詩の朗読が行われた。澄みわたる美しい歌声と心にしみるピアノの演奏は、言葉の壁を越え、聴く人すべての心を癒し、そしてその心をひとつにしてくれた。芸術を通して、子どもの養育に欠かせない素養としての感性の大切さに気付かされる機会となった。グランドピアノの調達や控室の準備等、資生堂財団にご助力頂いたことで、“本物の芸術”に触れることができた。

その後の交流会では、久しぶりの再会を喜ぶ方や、期を超えて交流を深める方など、参加者が相互に交流し NPO STARS のエネルギーを感じることができた。



## □ 東アジア交流研修報告

(公益財団法人資生堂社会福祉事業財団から事業受託)

### ■ スケジュール

2018年6月29日― 来日、施設見学

30日― 設立5周年記念式典、記念シンポジウムに参加

7月1日― 離日

### ■ 見学施設 つくば香風寮（児童養護施設）

さくらの森乳児院（乳児院）





■ 施設見学・ウエルカムパーティー参加者

氏名	所属	職位等	
PARK SUNGUK	慶尚南道社会福祉士協会	会長	
JUNG MINHWA	慶尚南道社会福祉士協会	副会長	
SHIN WONSIK	慶南大学社会福祉学科	教授	
NO MIJIN	慶尚南道ひとり親支援センター	センター長	
CHOI EUNGU	児童施設ドンボウォン	事務局長	
KWAK DONGSOO	児童施設菩提樹の丘	事務局長	
KIM SUNHWA	児童施設地域児童センター	社会福祉士	
JUNG JIHYUN	慶南児童福祉後援会	会長	
JEONG TOUNGJOO	児童施設地域児童センター	児童福祉教師	
BAEK UNGK	大韓青少年福祉環境団	代表	
氏名	所属	ウエルカムパーティー	施設見学
太田一平	八楽児童寮	○	○
越川和久	蛍雪学園	○	○
砂山真喜子	あすなろ子育て広場	○	○
麻生信也	杉並学園	○	○
芳賀英友	同人会子どもホーム	○	○
高田牧子	東京恵明学園	○	○
中道亜紀子	六踏園皐月	○	○
川 真由子	八楽児童寮	○	○
松本厚生	大村子供の家	○	
側垣一也	三光事業団	○	
曹 徳善	愛神愛隣舎	○	
都留和光	二葉乳児院	○	
軀川 恒	かのや乳児院	○	
大矢和子	公益財団法人資生堂 社会福祉事業財団	○	
稲垣幸朗		○	○
辻 弘道		○	○

## ■ 内容

施設見学では、NPO STARS 会員でもある芳賀英友氏が法人及び施設の概要を解説した。その後、児童養護施設つくば香風寮とさくらの森乳児院を見学した。通訳も同行し、必要に応じて質疑応答があった。韓国側からは、養育環境を整えることの大切さを学びましたとの感想が聞かれた。

設立5周年記念シンポジウムでは、ジョンミンファ氏がシンポジストとして登壇し、専門職の配置や資格という点から韓国の児童福祉における人材育成について発題された。参加者からは、社会状況の変化とともに、社会福祉従事者の働く環境も変化しているという点について質問があった。ほかにも、発題と質疑応答によって、韓国の子ども家庭福祉の様子を感じることができたとの感想が寄せられた。

## ■ 所感

来日の際、K-STARS メンバーは、入国審査等に時間がかかってしまい、施設見学は当初の予定を変更せざるを得なかった。質疑応答や意見交換なども予定していたができなかった。それでも、受け入れ施設による周到な準備があり、限られた時間を有効に使った学びの多い施設見学となった。

ウエルカムパーティーや式典でのパク会長のご挨拶では、民間外交としての東アジア交流研修の意義を再認識することとなった。

シンポジストとしてジョン副会長に登壇いただいたが、企画段階からの訪韓、訪日によって内容やテーマについて共通認識をもっていただけだ。職員の人材育成や働く環境は、養育環境に大きく影響することから、ジョン先生の発題に対する参加者の関心は高かった。労働法制の変革期を迎えている韓国の状況について知る機会となった。

韓国側からは、来年度の交流研修についての言及があった。ソウルを会場に準備をしますとのことであった。

今回も、公益財団法人資生堂社会福祉事業財団様のご尽力によって、東アジア交流で多くの学びを得ることができたことに深く感謝する。

